



ひよこだより

都立葛飾ろう学校 乳幼児教育相談

令和5年11月1日 NO. 7

進路を選ぶということ

11月に入り、朝晩ひんやりする季節になりました。秋の深まりを感じますね。外では金木犀の良い香りがします。木々は赤や黄色に色付き、親子での会話が弾むのではないかと思います。ぜひこの時期にしかできない会話を楽しんでみてください。



さて、今回は進路選択について考えてみたいと思います。

ひよこ組 2歳児は、2学期に入ってから、進路について相談を受けることが本格的になってきました。ろう学校幼稚部を見学したり、説明会に参加したり、療育施設を見学したり、忙しくなってきましたね。個別相談の時にも、お子さんにとってどのような進路選択が良いのか、一緒に考えたり話したりすることが多くなりました。お子さんにとってどのような選択が良いのか、選択をしたけど本当にこれでよかったのかなど悩みも出てくる時期だと思えます。

まだ2歳児のわが子にとって一番良い選択って何だろうと思われると思います。いろいろ考えを巡らせていると、保護者の方もよく分からなくなってきてしまうと思います。御家庭の教育方針、保護者の方のお仕事のことなど、いろいろ頭に浮かんできますよね。もちろんそれも進路を考える上では大切なことです。



まず、考えてみたいこと、それはお子さんが「将来どんな大人になってほしいのか。」ということです。具体的にイメージできると良いですが、まだまだ小さいわが子を目の前にすると難しいと思います。皆さんが相談に来ている葛飾ろう学校は、幼稚部、小学部、中学部、高等部、専攻科まである大きな学校です。ぜひ、幼児・児童・生徒の姿を見てみてください。校内を紹介するオープンスクールや参観日などの機会がありますので、ぜひ積極的に申し込んで見学してみてください。参考になる部分がたくさんあると思います。2歳児であれば、幼稚部の子供たちがどのように生活しているか、5歳児であれば小学部の児童の姿を見ることで、御自身のお子さんの将来の姿としてイメージできるのではないかと思います。

次に、ひよこ組に通っている2歳児、ことり組のお子さんにとって、この先どのような進路選択があるのかいくつか例を挙げてみたいと思います。

《ひよこ組 2歳児の選択肢》

- ・ろう学校幼稚部に進学する
- ・地域の保育園・幼稚園に通いながら月に約1回の個別相談（3～5歳児のことり組）の支援を受ける
- ・療育センター等で療育を受けながら月に約1回の個別相談（3～5歳児のことり組）の支援を受ける

《ことり組の選択肢》

- ・ろう学校小学部に就学する。
- ・地域の小学校に在籍し、難聴学級の支援を受ける。
- ・地域の小学校に在籍し、特別支援学級（通級・固定級）の支援を受ける。
- ・都立の特別支援学校（知的障害、肢体不自由、病弱、盲学校など）に在籍し、ろう学校の補聴相談を利用する ※**ろう学校**：聴覚に障害がある幼児・児童・生徒に対して、幼稚園、小学校、中学校、高等学校に

準ずる教育を行ったり、障害が重複している子供に対しても、障害に合わせた教育を行ったりする学校です。

難聴学級：週に数時間、自分の学校、他の学校、などに設けられている通級指導教室に通って指導を受けます。個別指導や必要に応じてグループ指導を行うこともあります。

特別支援学級：小中学校に設置されている、障害のある児童・生徒を対象にした少人数制の学級です。知的障害、情緒障害などの学級があり、児童生徒のニーズに応じて指導を行います。

特別支援学校：心身に障害のある児童・生徒が通う学校です。児童・生徒の自立を促すために必要な教育を受けることができます。(知的障害、肢体不自由、病弱、盲学校等があります。)



このように、選ぶと言っても様々な選択肢があります。

各学校、各学級には、それぞれメリットとデメリットがあります。まずは、①お子さんの発達に合っているか、②聞こえない・聞こえにくいお子さんにとって分かる環境であるか、この2つは特に考えることが大切です。

①の発達面については、発達検査で客観的に評価することも1つの方法です。実際に、ひよこ組2歳児、ことり組5歳児は、発達検査を実施しています。発達に遅れがある場合には、通常の学校での授業を受けるよりもお子さんの現段階の発達に合わせた丁寧な指導を受けることで、その後の力を伸ばすことにつながります。②の分かる環境については、聞こえない、聞こえにくい子供たちが分かるためには、補聴器や人工内耳を装着しているからといって音声言語だけの提示ではなく、手話や絵・写真カード、文字などを活用し、目で見てわかるような情報保障がなされていることが必要です。保護者の方がお子さんの進路先を考える上で、実際に希望する学校でどのような支援を受けられるのか、事前の情報収集が必要です。今の時期は、それぞれの学校で文化祭や学校公開等を行っているところが多いので、ホームページ等を見て、各学校を見学してみてください。

先日、幼稚部の学校見学・説明会が実施されましたが、たくさんの質問が出ていました。疑問に思っていることをその場で聞き、解決していくことが大切です。お子さんのためと思って積極的に聞いてみましょう。質問の内容によっては、改めて学校から説明の時間を設けて話し合う機会を作れるところもあります。その学校や施設の教育方針の説明を聞き、どのような支援が受けられるのか、そしてどのような力をつけることができるのかなど、具体的に説明を受けることができます。

また、5歳児の場合は、お住いの区市町村の教育委員会の就学相談を受ける必要があります。教育委員会の就学相談の方にお子さんの様子や今のお悩みを伝え、お子さんに合わせた就学先を考えていきます。各区の広報などに相談の予定、連絡先が載るので、時期が来たら確認し早めに連絡をしましょう。

進路選択は、最終的には、保護者の方が御家族でよく話し合って決めていただくこととなります。お子さんの発達の特徴に合わせて就学先を選択し、お子さんの成長発達を促すことができる場所を選べると良いと思います。聞こえない・聞こえにくい子供たちが、自分に自信をもって生きていかれるような就学先を見つけていきたいですね。成長過程を見て学校選択ができるということを保護者の方には覚えておいていただきたいと思います。今のわが子に何が必要か、今のわが子がどういう環境に置かれたらハッピーかを考え、進路の軌道修正ができる親御さんでいてください。選択に迷ったときには、いつでも声を掛けてください。一緒に考えていきましょう。(担当：下里)

